

NaME-PrO 法を用いた遺伝子変異・マイクロサテライト不安定性に関する研究のお知らせ

帝京ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年2月3日～2023年12月31日

〔研究課題〕 NaME-PrO 法を用いた遺伝子変異・マイクロサテライト不安定性の検出

〔研究目的〕 本研究は、がんの治療における分子標的薬の適応をより正確に判定することを目的とします。

〔研究意義〕 今日のがん治療において分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤は不可欠な治療薬となりつつあります。これらの適応についてはがんから抽出した遺伝子を調べる必要がありますが、炎症の強い腫瘍などでは評価が難しい場合があります。本研究は新たに開発された NaME-PrO 法という検査方法を用いて、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤の適応をより正確に判定することを目標とします。

〔対象・研究方法〕 2010年1月1日から2021年11月30日の期間に当院で大腸癌、胃癌、子宮体癌と診断された患者さんを対象として、病理組織標本を後方視的に検索し、がんの遺伝子変異やマイクロサテライト不安定性について検索します。研究にはこれまでに手術で取り除かれた病理標本を用いますので、対象となる患者さんに新たに負担をお掛けすることはありません。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 病院病理部

〔個人情報の取り扱い〕 当院は、ヘルシンキ宣言および臨床研究に関する倫理指針に則り、患者さんの人権を守るよう配慮して研究を行います。取り扱うデータは対象となる患者さんの、カルテ番号、年齢、診療情報（診断名、病状や治療期間、治療効果等）を使用し、お名前や住所、電話番号などが使用されることは一切ありません。

対象となる患者さんが検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学ちば総合医療センター病院病理部 教授 山崎一人
研究分担者： 帝京大学ちば総合医療センター外科 准教授 首藤潔彦
住所： 千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL: 0436-62-1211(代表) [内線 1263]